

昭和52年度業績目録

著 書

口腔生化学教室

葛谷博磁, 永津俊治, 早川太郎, 原田 実, 深沢勝彦 他訳: 口腔領域の生化学 (E. P. Lazzari: Dental Biochemistry 2nd ed 1976) 医歯薬出版(東京)1977. (9月)

口腔衛生学教室

近藤 武(共著): 農薬中毒, 上田喜一, 平木潔編, 南江堂(東京)1978, (3月)

歯科保存学教室第II

安田英一(共訳): 歯内療法マニュアル基礎編. 医歯薬出版(東京)1977. (5月)

安田英一(共著): 新臨床歯科学講座第2巻. 日本歯科医師会編, 医歯薬出版(東京)1977. (12月)

歯科補綴学教室第I

橋本京一(分担執筆): "新臨床歯科学講座第3巻"即時義歯(その必要性と作り方)P.180~P.191 日本歯科医師会編. 医歯薬出版(東京)1978.

小児歯科学教室

今西孝博(共著): 小児歯科実習マニュアル 医歯薬出版(東京), 1977.

論 文 発 表

口腔解剖学教室第II

鈴木和夫, 村松 力, 吉沢英樹: 走査電子顕微鏡による歯根膜線維の観察. 松本歯学, 3(1):28-42, 1977.

北村博文: 帯状疱疹後三叉神経痛に対する鍼灸療法の応用例. 松本歯学, 3(1):64-68, 1977.

佐原紀行: N. G. F. 抗血清によるマウス顎下腺の変化. 松本歯学, 3(2):108-112, 1977.

口腔生理学教室

野村浩道, 熊井敏文: カエル化学受容器に対するpHの作用. 昭和51年度総合研究「化学受容における分子識別」研究報告書, 6-8, 1977.

野村浩道, 浅沼直和: ウサギ葉状乳頭のアデニルシクラーゼおよびホスフォジエステラーゼの組織化学. 味と匂のシンポジウム論文集, 11:59-62, 1977.

熊井敏文, 野村浩道: カエル舌化学受容器における塩とpHの作用. 味と匂のシンポジウム論文集, 11:63-66, 1977.

河野のり子, 野村浩道: ウサギ葉状乳頭ホスファターゼの生化学的研究. I. 葉状乳頭遠心分画の各種ホスファターゼ活性. 松本歯学, 3:122-127, 1977.

口腔生化学教室

原田 実: 象牙質中のリンタンパク質の分離法と特性. 松本歯学, 3(1):1-7, 1977.

深沢加与子, 原田 実: ウン歯髓組織中の脂質の分析. 松本歯学, 3(2):117-121, 1977.

口腔細菌学教室

中村 武, 杉中芳幸, 山崎宣夫, 小幡直樹: 歯垢より分離した bacteriocin 様活性産生菌の生物学的性状. 松本歯学, 3(1):8-14, 1977.

Nakamura, T., Suginaka, Y., Obata, T., Obata, N. and Yamazaki, N.: Bacteriocin-like activities of human dental plaque flora against oral anaerobic microorganisms. Bull. Tokyo dent. Coll. 18(4):217-229, 1977.

口腔病理学教室

秋田隆造, 梅津 彰, 山本一郎, 小松正隆, 山本眞紫, 浦出雅裕, 山岡 稔, 溝口幸二, 林 俊子, 枝 重夫: 両側上顎洞に発生した benign mucosal cyst の1例. 松本歯学, 3(1):57-63, 1977.

Eda, S., Tokuu, S., Kato, K., Uchida, E., Yoshida, T., Hayashi, T. and Kawakami, T.: A melanotic ameloblastic fibro-odontoma. Bull. Tokyo dent. Coll. 18(3):119-128, 1977.

枝 重夫, 川上敏行, 林 俊子, 千野武広, 亀山嘉光, 鹿毛俊孝: 稀有なる Ameloblastic Fi-

broma の 1 症例. 日口科誌, 26(2):285—290, 1977.

加藤倉三, 徳植 進, 枝 重夫: Ameloblastic Odontoma とその類似疾患について. 松本歯学, 3(2):97—107, 1977.

鹿毛俊孝, 丸茂忠英, 千野武広, 川上敏行, 林俊子: 巨大な妊娠性エプーリスの 1 例. 松本歯学, 3(2):153—159, 1977.

枝 重夫: 歯科基礎医学会, 特に口腔病理学の学術展望について—その機関誌と第 19 回総会に關して—. 日本歯科医学会会報, 4(1):7—11, 1977.

歯科薬理学教室

倉橋 寿: フッ化ナトリウムのラット肝薬物代謝酵素に及ぼす影響. 松本歯学, 3(1):15—21, 1977.

服部敏己, 前橋 浩: フッ素の腸管吸収に及ぼす二, 三薬物の影響. 松本歯学, 3(1):22—27, 1977.

田村俊吉, 前橋 浩, 小沢玲子, 後藤和義: ヒ素代謝に関する研究 (第 20 報), ヒ素の慢性中毒を発生させたラットのヒ素の臓器内蓄積並びに糞便, 尿への排泄に関する研究. 日薬理誌, 73(8):877—885, 1977.

歯科理工学教室

鷹股哲也, 駒沢秀行, 橋本京一, 伊藤充雄, 高橋重雄: Co - Cr - Ni 系合金の陶材焼付に関する研究 (第 6 報) ブリッジの臨床成績. 松本歯学, 3(1):43—56, 1977.

高橋重雄: セメント合着時の浮き上りとその対策. 国際歯科ジャーナル, 6(2):187—194, 1977.

高橋重雄: 印象材と使用上の注意事項—よい修復物を得るために—. 日本歯科評論, 425号, 83—90, 1978.

口腔衛生学教室

松沢芳子, 近藤 武, 笠原 香, 安藤三男, 細川安徳: 中学生を対象とした刷掃指導の効果について. 口衛誌, 27(2):32—37, 1977.

近藤 武, 笠原 香, 松沢徳男: 松本駐とん地勤務隊員の歯の欠如とその補綴の実態について. 防衛衛生, 24(9):319—326, 1977.

歯科保存学教室第 II

安田英一: 生活断髓法. 歯科ジャーナル, 7(1):19—26, 1978.

歯科補綴学教室第 I

鷹股哲也, 駒沢秀行, 橋本京一, 伊藤充雄, 高橋重雄: Co - Cr : Ni 系合金の陶材焼付に関する研究 (第 6 報) ブリッジの臨床成績. 松本歯学, 3(1):43—56, 1977.

口腔外科学教室第 I

鹿毛俊孝, 丸茂忠英, 千野武広, 川上敏行, 林俊子: 巨大な妊娠性エプーリスの 1 例. 松本歯学, 3(2):153—159, 1977.

口腔外科学教室第 II

浦出雅裕, 小松正隆, 山本一郎, 待田順治: 9, 10-Dimethyl - 1, 2-benzanthracene により誘発されたラット腫瘍組織内及びその培養細胞内の C 型ウィルス粒子. 日口科誌, 26(3):395—404, 1977.

浦出雅裕, 小松正隆, 待田順治: ラット胎仔初代培養細胞における風疹ウィルス持続感染系の確立. 日口科誌, 26(3):405—413, 1977.

小松正隆, 浦出雅裕, 秋田隆造, 山本一郎, 待田順治: 糖質コルチコイド処理されたマウス胎仔口蓋突起の in vivo ならびに in vitro における癒合能について. 日口外誌, 23(6):764—770, 1977.

久枝健二, 和田 健, 白砂兼光, 内橋隆志, 長谷川 清, 作田正義, 待田順治, 宮崎 正: 舌 hemangiopericytoma の 1 例. 日口外誌, 23(6):778—782, 1977.

秋田隆造, 梅津 彰, 山本一郎, 小松正隆, 山本眞紫, 浦出雅裕, 山岡 稔, 溝口幸二, 林俊子, 枝 重夫: 両側上顎洞に発生した benign mucosal cyst の 1 例. 松本歯学, 3(1):57—63, 1977.

待田順治, 山岡 稔, 伊吹 薫, 小松正隆, 久枝健二, 山本一郎, 梅津 彰: 圧縮応力に対する下顎骨の物理的性状. 松本歯学, 3(2):113—116, 1977.

総合診断学・口腔外科学教室

Eda, S., Tokue, S., Kato, K., Uchida, E.,

Yoshida, T., Hayashi, T. and Kawakami, T. :
A melanotic ameloblastic fibro-odontoma. Bull.
Tokyo dent. Coll. 18 (3) : 119—128, 1977.

加藤倉三, 徳植 進, 枝 重夫 : Ameloblastic
Odontoma とその類似疾患について. 松本歯学,
3 (2) : 97—107, 1977.

徳植 進 : 歯科医療の周辺 山積する諸問題に
ついての一私見. デンティスト, 2 (10), 1977.

歯科矯正学教室

中後忠男, 藤森行雄 : 矯正治療と口腔衛生. 松
本歯学, 3 (2) : 128—140, 1977.

中後忠男, 藤森行雄 : 矯正治療中の口腔衛生管
理の実際. 松本歯学, 3 (2) : 141—152, 1977.

中後忠男, 藤森行雄 : 矯正治療中の口腔衛生管
理の実際. 松本歯学, 3 (2) : 141—152, 1977.

中後忠男 : 側方歯群に対する矯正学的諸問題の
特集によせて. 近東矯歯誌, 12 (1) : 15, 1977.

小児歯科学教室

笠原 浩, 大村泰一, 外村 誠, 今西孝博 : 小
児歯科治療における静脈内鎮静法の使用経験. 小
児歯誌, 15 (1) : 42—45, 1977.

笠原 浩, 今西孝博 : 「小児歯科の全身麻酔」
を求めて. 日本歯科評論, No. 420 : 45—52, 1977.

歯科放射線学教室

加藤倉三 : 日本歯科放射線学会の学術展望につ
いて. 日本歯科医学会会報, 3 (3) : 7—9, 1977.

Eda, S., Tokue, S., Kato, k., Uchida, E.,
Yoshida, T., Hayashi, T. and kawakami, T. : A
melanotic ameloblastic fibro-odontoma. Bull.
Tokyo dent. Coll. 18 (3) : 119—128, 1977.

加藤倉三, 徳植 進, 枝 重夫 : Ameloblastic
Odontoma とその類似疾患について. 松本歯学,
3 (2) : 97—107, 1977.

学 会 報 告

口腔解剖学教室第 I

日本解剖学会総会 (第 82 回) 昭和 52 年 4 月
下顎大白歯に於ける咬頭と溝の変化 : 恩田千爾,
峯村隆一

松本歯科大学学会例会 (第 4 回) 昭和 52 年 6 月
インド人に於ける上顎大白歯のカラベリー結節に
ついて : 恩田千爾, 峯村隆一

歯科基礎医学会総会 (第 19 回) 昭和 52 年 9 月
インド人歯牙にみられるカラベリー結節につい
て : 恩田千爾, 峯村隆一.

口腔解剖学教室第 II

松本歯科大学学会例会 (第 4 回) 昭和 52 年 6 月
齧歯類切歯歯根膜についての走査電子顕微鏡によ
る観察 : 鈴木和夫, 吉沢英樹

口腔生理学教室

日本生理学会大会 (第 54 回) 昭和 52 年 4 月
カエル水受容器における水素イオンの影響 : 熊井
敏文, 野村浩道

松本歯科大学学会例会 (第 4 回) 昭和 52 年 6 月
カエル味覚器の水受容における塩一酸応答 : 熊井
敏文, 野村浩道

International Congress of Physiological
Sciences. (27th) July, 1977.

Inhibitory action of some cations on the frog
water receptor : Nomura, H., Kumai, T.

International Symposium of Olfaction and
Taste. (6th) July, 1977.

Phosphatases in the taste organs of frog and
rabbit : Nomura, H., Kono, N., Asanuma, N.

American Society for Pharmacology and
Experimental Therapeutics, Fall meeting.
August, 1977.

Responses of a parasympathetic ganglion to
autonomic agonist drugs : Suzuki, T., Volle,
R.L.

歯科基礎医学会総会 (第 19 回) 昭和 52 年 9 月
ウサギおよびカエル味覚器のホスファターゼ : 野
村浩道, 河野のり子

松本歯科大学学会総会 (第 5 回) 昭和 52 年 11 月
ウサギ葉状乳頭ホスファターゼの組織化学 (第 2
報) : 野村浩道

The Society for Neuroscience, 1977 meeting.
November, 1977.

Hyperpolarizing potentials induced by Ca-
mediated K conductance increase in hamster
parasympathetic neurons : Suzuki, T., Kusano,

K.

口腔生化学教室

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
皮様嚢胞の1症例:丸茂忠英, 龍方孝典, 亀山嘉
光, 千野武広, 林 俊子, 枝 重夫, 平岡行博,
原田 実

松本歯科大学学会総会(第5回)昭和52年11月
X-プロリン・ジペプチジル-アミノペプチダー
ゼの amino 酸ならびに糖組成の分析:深沢加与
子, 原田 実

口腔細菌学教室

日本細菌学会総会(第50回)昭和52年4月
口腔内 *Bacteroides* に対する bacteriocin 産生菌
の性状と活性因子の精製:中村 武, 杉中芳幸,
小幡哲夫

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
Bacteroides melaninogenicus の black pigment
(Hematin) による *Streptococcus mutans* の発育阻
害:中村 武, 杉中芳幸, 小幡哲夫, 小幡直樹,
山崎宣夫

Annual General Session American Associa-
tion for Dental Research. June 25, 1977
Bacteriocin-like activity of human dental
flora: Nakamura, T., Suginaka, Y., Obata, T.
and Takazoe, I.

歯科基礎医学会総会(第19回)昭和52年9月
口腔内 *Propionibacterium acnes* の bacteriocin
(Acneicin) 活性:中村 武, 杉中芳幸, 小幡直樹,
山崎宣夫

口腔病理学教室

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
歯牙の増齡的变化についての microradiography
と electron-microscopy (第4報):枝 重夫,
川上敏行, 林 俊子, 赤羽章司, 渡辺郁馬, 山崎
喜之

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
窩洞形成が歯髓に及ぼす影響に関する電子顕微鏡
的研究(第4報):枝 重夫, 川上敏行, 林 俊
子, 赤羽章司, 齊藤利夫

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
皮様嚢胞の1症例:丸茂忠英, 龍方孝典, 亀山嘉

光, 千野武広, 林 俊子, 枝 重夫, 平岡行博,
原田 実

松本歯科大学学会総会(第5回)昭和52年11月
巨大な妊娠性エプーリスの1例:鹿毛俊孝, 丸茂
忠英, 千野武広, 川上敏行, 林 俊子

松本歯科大学学会総会(第5回)昭和52年11月
Calcifying Odontogenic Cyst の1例:川上敏行,
林 俊子, 枝 重夫, 笠原 浩, 外村 誠, 大村
泰一

松本歯科大学学会総会(第5回)昭和52年11月
歯牙の増齡的变化についての microradiography
と electron-microscopy (第5報):枝 重夫,
川上敏行, 林 俊子, 赤羽章司, 渡辺郁馬, 山崎
喜之

歯科薬理学教室

日本薬理学会関東部会(第56回)昭和52年6
月
フッ素の腸管吸収に及ぼす二・三薬物の影響:服
部敏己, 前橋 浩

東京歯科大学学会例会(第201回)昭和52年6
月
パラホルムアルデヒド含有セメントおよびバスタ
内ホルムアルデヒド量の経時的变化:佐藤英世,
堤 璋二, 都筑新太郎

歯科理工学教室

歯科理工学会学術講演会(第32回)昭和52年
5月
金銀パラジウム合金の熱処理条件に関する研究
(その2)一加熱雰囲気の影響一:伊藤充雄, 永
沢 栄, 横浜桂子, 高橋重雄, 吉成正雄

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
合着用セメントの被膜厚さに関する研究 その
2. 温度, 湿度の影響について:横浜桂子, 伊藤
充雄, 市川明彦, 高橋重雄

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
モアレトポグラフィ解析装置の製作:永沢 栄,
伊藤充雄, 中西哲生, 高橋重雄, 鷹股哲也, 橋本
京一, 佐藤勝也

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
微小面モアレ縞測定装置の試作と検討:鷹股哲
也, 酒井英一, 田草川 勲, 橋本京一, 永沢 栄,
高橋重雄

歯科理工学会学術講演会(第33回)昭和52年11月

リン酸塩系埋没材に関する研究(その1)一耐火材の種類と炭素含有量の影響について一:伊藤充雄

口腔衛生学教室

口腔衛生学会(26回)昭和52年10月

微量フッ化物内服による不快症状発現について:笠原 香, 安藤三男

口腔衛生学会(26回)昭和52年10月

生物試料中のフッ素定量における拡散条件の検討:上条啓子, 近藤 武

口腔衛生学会(第26回)昭和52年10月

PMA index による刷掃指導の評価について:松沢芳子, 近藤 武, 田熊恒寿

歯科補綴学教室第I

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
モアレトポグラフィ解析装置の製作:永沢 栄, 伊藤充雄, 中西哲生, 高橋重雄, 鷹股哲也, 橋本京一, 佐藤勝也, 安江新一

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
微小面モアレ縞測定装置の試作と検討:鷹股哲也, 酒井英一, 田草川 勲, 橋本京一, 永沢 栄, 高橋重雄

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
心身障害患者における一補綴例:林 茂, 牧野雅樹, 佐藤勝也, 橋本京一

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
総義歯人工歯排列に用いる新しい器具の考察—スベースゲージについて—:鷹股哲也, 酒井英一, 田草川 勲, 橋本京一

松本歯科大学学会総会(第5回)昭和52年11月
口蓋の断面形態の分類に関する考察:鷹股哲也, 酒井英一, 田草川 勲, 橋本京一

歯科補綴学教室第II

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
モアレトポグラフィ解析装置の製作:永沢 栄, 伊藤充雄, 中西哲生, 高橋重雄, 鷹股哲也, 橋本京一, 佐藤勝也, 安江新一

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
心身障害患者における一補綴例:林 茂, 牧野雅

樹, 佐藤勝也, 橋本京一

口腔外科学教室第I

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
抜歯中に誤って口腔底に迷入させた下顎智歯の一症例:龍方孝典, 亀山嘉光

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
皮様嚢胞の1症例:丸茂忠英, 龍方孝典, 亀山嘉光, 千野武広, 林 俊子, 枝 重夫, 平岡行博, 原田 実

日本口腔外科学会総会(第22回)昭和52年10月

類皮嚢胞の一症例:丸茂忠英, 龍方孝典, 亀山嘉光, 千野武広

松本歯科大学学会総会(第5回)昭和52年11月
巨大な妊娠性エプーリスの1例:鹿毛俊孝, 丸茂忠英, 千野武広, 川上敏行, 林 俊子

口腔外科学教室第II

日本口腔科学会総会(第31回)昭和52年5月
口蓋裂の実験的発生に関する研究 培養されたマウス胎仔口蓋突起の癒合について:小松正隆, 浦出雅裕, 山本一郎, 秋田隆造, 梅津 彰, 山岡 稔, 待田順治

日本口腔科学会総会(第31回)昭和52年5月
ラット胎仔初代培養細胞における風疹ウィルス持続感染系の確立:浦出雅裕, 小松正隆, 山本一郎, 秋田隆造, 梅津 彰, 山岡 稔, 待田順治

3rd International Congress on Cleft Palate and Related Craniofacial Anomalies. June 5-10, 1977. Information retrieval system for scientific articles appeared in the Cleft Palate Journal: Machida, J., Yamaoka, M., Komatsu, M. and Yamamoto, I.

日本口腔外科学会総会(第22回)昭和52年10月

鼻咽腔閉鎖不完全症に対する Palatal lift prosthesis の試み:浜村康司, 松矢篤三, 西尾順太郎, 元村太一郎, 宮崎 正, 福田登美子, 溝川信子, 後藤友信, 久枝健二, 増山弥太郎

日本口腔外科学会総会(第22回)昭和52年10月

OFD症候群と思われる一症例:梅津 彰, 山本一郎, 小松正隆, 久枝健二, 伊吹 薫, 山岡 稔,

待田順治, 浦出雅裕, 秋田隆三

日本口腔外科学会総会(第22回)昭和52年10月

鼻咽腔閉鎖関連筋(特に口蓋帆挙筋)に関与する神経の側頭骨内分枝の同定:伊吹 薫, 久枝健二, 待田順治, 浜村康司, 西尾順太郎, 松矢篤三, 宮崎 正, 玉置弘光

松本歯科大学学会総会(第5回)昭和52年11月
糖質コルチコイド処理されたマウス胎仔口蓋突起の in vivo 並びに in vitro における癒合能について:小松正隆, 山本一郎, 梅津 彰, 久枝健二, 伊吹 薫, 山岡 稔, 待田順治

松本歯科大学学会総会(第5回)昭和52年11月
OFD症候群と思われる1症例:梅津 彰, 山本一郎, 小松正隆, 久枝健二, 伊吹 薫, 山岡 稔, 待田順治

日本口腔外科学会中部地方会(第2回)

日本口腔科学会中部地方会(第20回)昭和52年11月

松本歯科大学第2口腔外科における口唇裂口蓋裂患者の検討:待田順治, 山岡 稔, 伊吹 薫, 久枝健二, 小松正隆, 山本一郎, 梅津 彰

歯科矯正学教室

近畿東海矯正歯科学会総会(第19回)昭和52年6月

シンポジウム「側方歯群に対する矯正学的諸問題」:中後忠男

日本矯正歯科学会大会(第36回)昭和52年10月

片側性埋伏上顎中切歯症例の処置方針について:中後忠男, 戸町惇毅, 徳永俊英, 田中久典, 久枝桂子

日本矯正歯科学会大会(第36回)昭和52年10月

中学生期以降にみられる下顎下縁平面傾斜角の成長に伴う変化:中後忠男, 藤森行雄, 増永守雄, 小松登志江, 上島真二郎

松本歯科大学学会総会(第5回)昭和52年11月
学童期の反対咬合者の咬合推移:中後忠男, 戸町惇毅, 田中久典

小児歯科学教室

日本小児歯科学会総会(第15回)昭和52年5月

月

全麻下集中治療と「コンパクト・ルーム」:笠原浩, 大村泰一, 外村 誠, 足立裕香子, 石川昌彦, 近藤義郎, 高橋 良, 今西孝博

日本小児歯科学会総会(第15回)昭和52年5月

乳歯歯髓切断法におけるホルマリン・グアヤコール応用に関する実験病理学的研究(第1報):外村 誠, 足立裕香子, 大村泰一, 石川昌彦, 近藤義郎, 高橋 良, 笠原 浩, 今西孝博

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
乳歯歯髓切断法におけるホルマリン・グアヤコール応用に関する実験病理学的研究(第1報):外村 誠, 足立裕香子, 大村泰一, 石川昌彦, 近藤義郎, 高橋 良, 笠原 浩, 今西孝博

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
全身麻酔下集中治療と「コンパクトルーム」:近藤義郎, 大村泰一, 外村 誠, 石川昌彦, 足立裕香子, 高橋 良, 笠原 浩, 今西孝博

The Vth Congress of the International Association of Dentistry for Children 昭和52年7月
Histologic Response of Amputated Pulp to Formoguaiacol:今西孝博

日本小児歯科学会例会 昭和52年9月
小児歯科治療のための吸入鎮静器の試作:高橋良, 石川昌彦, 近藤義郎, 小山和子, 外村 誠, 大村泰一, 笠原 浩, 今西孝博

日本歯科麻酔学会総会(第5回)昭和52年10月
進行性筋ジストロフィー症の麻酔経験:大村泰一, 外村 誠, 近藤義郎, 笠原 浩

日本歯科医学会総会(第14回)昭和52年10月
総合テーブルクリニック 能率的小児歯科診療:笠原 浩, 今西孝博

日本歯科医学会総会(第14回)昭和52年10月
総合テーブル・クリニック 心身障害児の歯科医療:笠原 浩

松本歯科大学学会総会(第5回)昭和52年11月
Calcifying Odontogenic Cystの1例:川上敏行, 林 俊子, 枝 重夫, 笠原 浩, 外村 誠, 大村泰一

松本歯科大学学会総会(第5回)昭和52年11月
小児歯科治療のための吸入鎮静器の試作:高橋良, 石川昌彦, 近藤義郎, 小山和子, 大村泰一, 外村 誠, 笠原 浩, 今西孝博

松本歯科大学学会総会(第5回)昭和52年11月
進行性筋ジストロフィー症の麻酔経験:石川昌
彦, 外村 誠, 大村泰一, 近藤義郎, 高橋 良,
小山和子, 笠原 浩, 今西孝博

歯科医学史研究室

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
口腔内の色彩に関する研究 第1報 歯科用カ
ラーメーターの考案:橋口緯徳, 矢ヶ崎 康, 須
賀長市, 益田善任, 平川昭二

電子顕微鏡室

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
歯牙の増齢的变化についての microradiography
と electron-microscopy (第4報):枝 重夫,
川上敏行, 林 俊子, 赤羽章司, 渡辺郁馬, 山崎
喜之

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
窩洞形成が歯髄に及ぼす影響に関する電子顕微鏡
的研究(第4報):枝 重夫, 川上敏行, 林 俊
子, 赤羽章司, 齊藤利夫

松本歯科大学学会総会(第5回)昭和52年11月
走査電子顕微鏡による顔面形成時上皮癒合の観
察:鈴木和夫, 吉沢英樹, 佐原紀行, 赤羽章司

松本歯科大学学会総会(第5回)昭和52年11月
歯牙の増齢的变化についての microradiography
と electron-microscopy (第5報):枝 重夫,
川上敏行, 林 俊子, 赤羽章司, 渡辺郁馬, 山崎
喜之

中央写真室

松本歯科大学学会例会(第4回)昭和52年6月
白黒スライドの調色効果について:山岸三郎, 岡
本雅寛

松本歯科大学学会総会(第5回)昭和52年11月
ミニコピーフィルムHR-IIの指定現像液とオリ
ジナル現像液処理の比較検討について:山岸三
郎, 岡本雅寛

その他

口腔外科学教室第II

Junji Machida

(International Abstracter, Cleft Palate Journal)
Abstracting Japanese articles on cleft lip/pa-
late and related matters for the Cleft Palate
Journal as appeared on its volume 14, pages
183, 184, 188, 253, and 254, 1977.

総合診断学・口腔外科学教室

[講演] 歯科領域における縫帯法のいろいろ:
徳植 進, 塩筑歯科医師会 昭和52年3月

歯科放射線学教室

学会開催

第18回日本歯科放射線学会総会は会長加藤倉
三教授のもと, 昭和52年9月23, 24日にわたり,
本学7階講堂において開催された。演題数は66に
のぼり, 約300人が参加した。